

- 再生可能エネルギーの活用：創エネ
- 建物の省エネルギーの徹底：省エネ
- 森林整備・保全によるCO₂吸収：吸収

三重大学 キャンパスのカーボンニュートラル (キャンパスの桜編)

100年ぶりに発見された桜

キャンパスには、2018年に新発見された紀伊半島南部にのみ分布する野生のサクラであるクマノザクラや開花時期の異なる種類の桜が植樹されてます。

地球温暖化の影響によって、桜（ソメイヨシノ）の開花時期の変化や開花日数の減少による伝統行事等への影響が予測されています。

□ キャンパスの桜

カンヒザクラ
2026年3月5日



カンヒザクラ
2026年3月4日



ソメイヨシノ
2026年3月30日



エドヒガン
2026年3月9日



ソメイヨシノ
2026年3月30日



シキザクラ
2025年10月24日



■ キャンパス緑花

人と自然の調和・共生をめざし、地域に根差した緑あふれる環境先進大学としての**キャンパスづくりを推進**しています。

クマノザクラ
2026年3月23日



2050カーボンニュートラルに向けた取組計画

国立大学法人 三重大学
地球環境センター
施設部 2024年11月

